

令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績)

施策名 観光産業の発展

施策コード 5010101

1. 施策の担当	
主管課	生活産業部 まちの活性課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり (活カ・賑わい)	節 第1節 観光
	施策	観光産業の発展	

**基本方針**

- ・「泉佐野シティプロモーション推進協議会」、「泉佐野市観光協会」を中心として、目的地となるための観光振興の組織体制を構築します。
- ・目的地となるための観光地経営をめざして、イノベーションを起こす人材の育成を実現するために、観光関連団体において、人材育成の動きが自立的かつ持続的に発展する環境の整備を支援します。
- ・訪日外国人旅行者の滞在時の快適性及び観光地の魅力向上並びに観光地までの移動等の円滑化を図るため、多言語による案内をはじめとする受入環境整備に取り組みます。
- ・「KIX泉州ツーリズムビューロー」と連携し、広域的に観光振興事業を行い、泉州地域への誘客に努めます。
- ・豊富な観光資源を活用した市民団体等の主催イベントを側面的に支援します。
- ・SNS等を活用して、市の魅力や観光情報をリアルタイムに市内外へ発信し、観光客の誘致に努めます。

**現況と課題**

- ・訪日外国人旅行者は着実に増え続けており、観光関連産業の活性化が期待されています。
- ・日本版DMO「泉佐野シティプロモーション推進協議会」は、市や観光協会と連携し、本市のまちの活性化に取り組んでいます。
- ・日本版DMOを中心とした組織体制の構築のため、官民連携した効果的な役割分担をしていく必要があります。
- ・観光産業の活性化が期待される中、目的地となるための観光地経営を担う人材を育成していく必要があります。
- ・訪日外国人旅行者のさらなる増加に向けて、訪日外国人旅行者が快適に観光を満喫できる環境を整備していく必要があります。
- ・堺市以南の9市4町で設立した地域連携DMO「KIX泉州ツーリズムビューロー」で広域的に観光振興事業を行うことにより、訪日外国人旅行者の泉州地域への誘客が期待されています。
- ・観光協会等と連携して、自然、歴史、文化等の豊富な観光資源をいかしたイベントの開催や支援を行うことにより、一定の集客を確保していますが、市内の歴史ある伝統文化を活用した賑わいを創出するとともに、地域コミュニティを維持・形成していく必要があります。
- ・観光関連団体と連携して、市内の宿泊・観光施設との情報のネットワークを構築し、まち処や観光情報センター、インターネット、SNS等を活用したリアルタイムな観光情報の提供に努めるとともに、訪日外国人旅行者に対する情報発信として多言語による案内にも取り組んでいく必要があります。

**施策目標**

対象 (誰を、何を、どこを)

訪日外国人観光客、国内観光客、地域事業者

**意図 (どのような状態にしたいのか)**

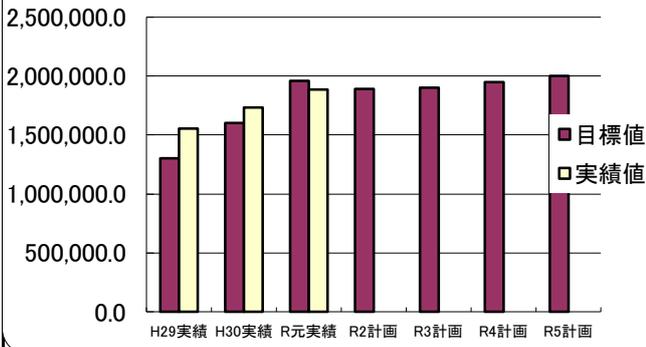
関西、日本各地、海外から多くの人々が訪れるよう、泉佐野の特色や魅力を活かしつつ集客力の向上を図り、人々の交流を生み出します。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度 (偏差値)	38.4						
重要度 (偏差値)	35.8						

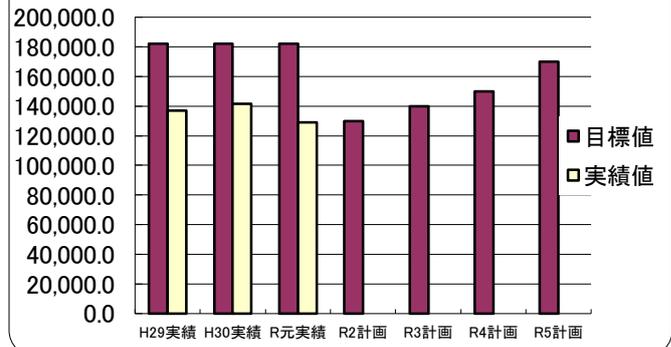
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H30決算	R元決算					
コストの内訳	人件費	千円	22,155	21,861				
	事業費		167,147	185,231				
	フルコスト		189,302	207,092				
財源内訳	国庫支出金	千円	28,411	41,390				
	府支出金		14,273	4,884				
	市債		0	0				
	その他		100,175	106,580				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		46,443	54,238				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		24,288	32,377				

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		市内の年間宿泊者数(延べ数)【暦年値】					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	1,300,000.0	1,600,000.0	1,960,000.0	1,890,000.0	1,900,000.0	1,950,000.0	2,000,000.0
実績値	1,555,470.0	1,731,180.0	1,886,670.0				
達成度	119.65	108.2	96.26				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
宿泊者数の増加が交流や地域活性化に繋がることから指標を設定		現状の数値から10年後に15%増やす目標を設定し、5年後の目標を86万人としましたが、新規宿泊施設が次々とオープンしており、目標を大幅に上回る実績値であるため、目標値を上方修正し、H30計画を160万人と設定		閑空の玄関口と言う好立地条件と宿泊施設の増加によるものと推測。			
② KPI 2		イベント集客数(市内で開催するもの)					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	182,000.0	182,000.0	182,000.0	130,000.0	140,000.0	150,000.0	170,000.0
実績値	136,774.0	141,707.0	128,966.0				
達成度	75.15	77.86	70.86				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
本市でのイベント集客数を把握することによって、賑わいの創出や市民団体等の観光振興に寄与した度合を把握するため指標として設定		過去の実績と現状を考慮して10年後の目標を概ね20万人と設定した上で、H26以降は過去の実績を踏まえるとともに、最終目標を達成するための目標値として設定		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年明けのイベントを中止したことによる減少。			
③ KPI 3		市内観光施設の利用者(延べ数)					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	160,000.0	165,000.0	170,000.0	175,000.0	180,000.0	185,000.0	186,000.0
実績値	163,065.0	178,109.0	188,266.0				
達成度	101.92	107.94	110.74				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内にある観光交流プラザ(りんくうまち処)観光情報プラザ(閑空まち処)観光おもてなしプラザ(泉佐野まち処)泉佐野市観光情報センターでの調査実績数		利用者のニーズに対応し、より幅広い情報提供を目指すための目標値を設定		目標数値に達成すべく、年々増加している。			
④ KPI 4		市内の年間外国人宿泊者数(延べ数)【暦年値】					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	1,000,000.0	1,100,000.0	1,100,000.0	1,250,000.0	1,300,000.0	1,350,000.0	1,400,000.0
実績値	989,440.0	1,131,180.0	1,244,310.0				
達成度	98.94	102.83	113.12				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
訪日外国人宿泊者数の増加が交流や地域活性化に繋がることから指標を設定		平成30年度で50万人を目標に設定しましたが、H26以降大幅に外国人宿泊者数が増加し、目標をはるかに上回る実績となりましたので、H27以降は過去の実績を踏まえ、目標値を設定		閑空の玄関口と言う好立地条件と宿泊施設の増加によるものと推測。			
⑤ KPI 5		市内観光施設の売上額					
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画
目標値	20,000,000.0	21,000,000.0	21,500,000.0	22,000,000.0	22,500,000.0	23,000,000.0	23,000,000.0
実績値	20,911,880.0	36,617,035.0	29,023,094.0				
達成度	104.56	174.37	134.99				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内にある観光交流プラザ(りんくうまち処)観光情報プラザ(閑空まち処)観光おもてなしプラザ(泉佐野まち処)泉佐野市観光情報センターでの売上額		泉佐野市及び特産品協定都市の特産品の販売を通じて、様々な観光資源をPRし、本市の魅力向上を目指す指針として目標値を設定		年度末の営業閉鎖等により減収となったが、売上額を伸ばす特産品等への入替作業などを行いながら、売上額の増加を目指す。			

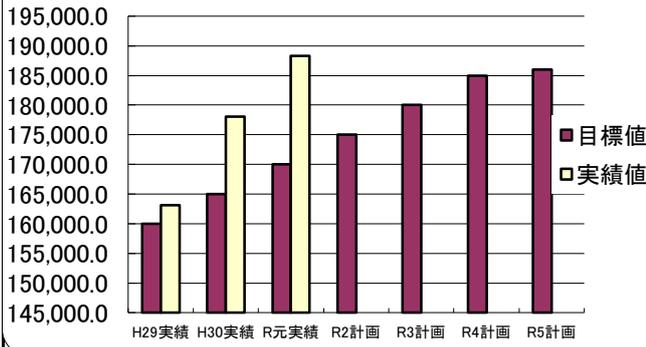
KPI①



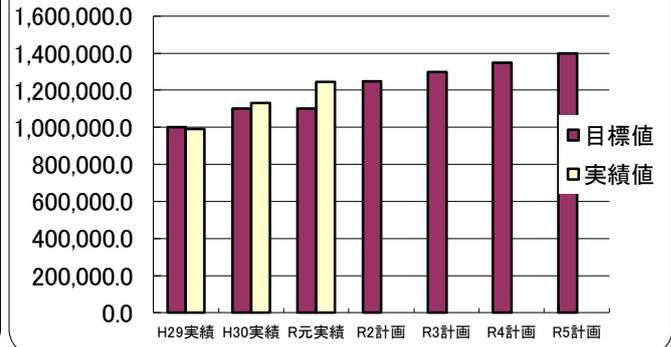
KPI②



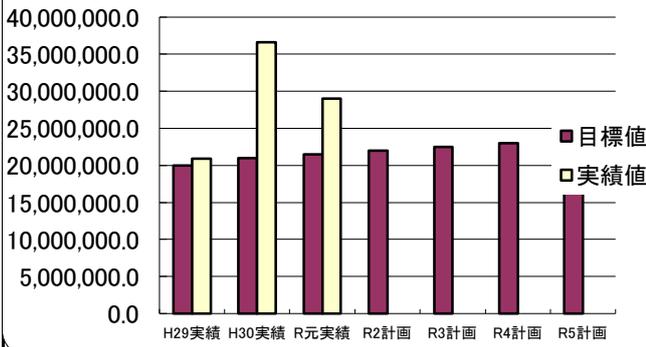
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	H24年10月に関西国際空港第2ターミナルのオープン、LCCの就航便数増加により、関空の利用者及びアジアを中心とした外国人宿泊者数が本市にて増加したことが要因と考えられる
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>1</b>	観光振興に対するニーズは地域の事業者等を中心に高まりつつあり、観光産業として発展させることが重要であると考えている。しかし、産業化するには時間が必要であり、現状として市民がその恩恵を享受するに至っていないことが調査結果としてあらわれているものと認識している。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>3</b>	国の観光施策に対する強化、ビザ発給要件緩和、LCCの就航等により、関空の玄関口である本市でのインバウンド宿泊や交流人口の大幅増加を後押ししている。新型コロナウイルス感染症の終息期から施策の復活と新たな取り組みを進めていく。
	合計点	(10点中) <b>8点</b>	
	総合評価	<b>B</b>	関西国際空港のお膝元と言う地の利を活かし、今後も目標の達成、更新に注力する。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	<b>B</b>	引き続き目標値の達成に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R元年度決算額			R2年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01037300	観光振興事業	14,698	91,760	27,894	0	B
2	01083337	大阪版DMO連携推進事業	2,107	46,669	4,483	0	B
3	01083379	関空立国デスティネーション化推進事業	5,056	46,802	0	0	B
合計			21,861	185,231	32,377	0	